



19北都発 88号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 殿

北名古屋市長 長 瀬



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、日頃から地方道路事業に対し、格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご依頼の「今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見」について別紙のとおり回答いたします。

別紙回答書

(愛知県北名古屋市の概要)

本市は、名古屋市の北側に隣接し、東西約6 km、南北約4 km、面積は、18,370 km²の平坦な市であります。道路につきましては、名古屋市と岐阜市を結ぶ国道22号線と岐阜県美濃地方を結ぶ国道41号線が南北に走り、それぞれの上部には名古屋高速16号一宮線と名古屋高速11号小牧線が、わが国の高速道路を代表する名神高速道路、東名高速道路、東名阪自動車道に連絡されています。

このように我が国の社会資本整備の恩恵を大きく受け、内陸型工業や物流産業と共に大都市近郊の住宅都市として発展してきました。

・「重点化を進める上で特に優先度の高い政策について」

長距離物流の効率化による貨物自動車の大型化は、沿道の環境問題を多く発生させ、今までの舗装の平坦性や路盤・路床の耐力不足等から発生する振動・騒音問題に加え、最近では、食品の鮮度を保つための保冷車による新たな騒音問題も発生しています。

よって、発生源対策を含めた更なる道路環境の整備を要望いたします。

・「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」

貨物自動車の大型化への移行に対し、道路の整備が追いついていないのが現状であります。特に、これらの車両が貧舗装の道路に進入し、路面の損傷を始め歩車道分離施設や道路標識等の破損が多く発生しています。

市町村が管理する道路では、すべての車両に対して適性に対応することは、事実上不可能であります。

現在、一部の車両では特殊車両通行許可制度により、道路維持に努められておりますが、この考え方を発展させ、すべての大型貨物自動車の指定路線化を行い、道路の役割分担の明確化を図り、道路施設及び付属施設の長寿命化によるコスト縮減と道路沿線住民の生活環境の改善を重視すべきと考えます。

・「その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見」

市内の道路整備状況は、自動車専用道路や幹線街路の内、主要幹線道路や都市幹線道路の国道や県道につきましては、概ね整備が完了しそれぞれの役割を果たしております。

しかし、市町村が計画し建設する地区幹線道路や補助幹線道路の整備は、未だ不十分であることから、車や歩行者・自転車等の安全な移動を確保するためのインフラのネットワークが確立できておりません。

よって、市民生活で日々利用する市町村道の整備につきまして、更なる国のご支援をお願い致します。